

いっしょに

飯南



いいなんちょう

飯南町広報

平成20年7月18日 No.43

7月号

議会定例会行政報告

まちの話題・町のうごき・お知らせなど

飯南町議会定例会

行政報告(抜粋)

6月10日から20日まで、第4回飯南町議会定例会が開かれました。今回は、19年度繰越明許費、本町が出資している財団法人等の経営状況など報告4件、19年度一般会計補正予算など専決処分を行った承認案7件、飯南町ふるさと応援寄附条例の制定など条例関係3件、平成20年度一般会計補正予算など予算関係5件、その他議決を要する事項2件を提出し、いずれも原案どおり可決しました。

琴引スキー場の運営

様々な観点から検討を重ねた結果、10年間の期間設定と短期ごとの見直し、指定管理料の上限設定と修繕費の総枠1億4000万円の設定をした上で、新たな指定管理者を公募し、運営を継続することが望ましいと判断しました。

「琴引スキー場および山荘等の周辺施設」「都市交流センター」やまなみ「道の駅」頼原「情報交流館」を一体的に管理運営する指定管理者の公募を行い、町内在住の方々が、ふるさとを愛する思いから、新たな会社を設立して応募いただきました。

書類審査、面接審査を行い、適切な管理者として判断しました。(6ページに関連記事)

「飯南町ふるさと応援寄附条例」の制定

「ふるさと」を離れて住んでも、自分を育んでくれた「ふるさと」に、自分の意思で納税できる制度があってもいいのではという「ふるさと納税制度」の論議が、国民各層に大きな反響を呼び、今年5月からスタートしました。飯南町では、7月から実施したいと考えています。

寄附金の使途は、「森林の保全」と「人材育成」に関する2つの事業としました。(詳細は7月自治区文書で各戸配布)

重点施策「定住対策と交流人口の拡大」の取組状況

里山コミッション

4月に設立して専任職員を配置し、町内情報の収集と町外への情報発信の一元化に向けて、準備を進めています。交流人口の拡大は、町外の方に「飯南町」を広く知ってもらうことから始まります。すでに広島市を中心として交流を重ね、農産物の販売提携な

ビジネス展開されている団体もあります。このような個人、団体などを結ぶ中間支援組織として、それぞれの活動内容などの把握を行っています。

「銀山街道」を活用した取り組み

4月に、赤名峠で「国取り綱引き大会」が開催され、飯南町と三次市布野町から多くの方に参加いただき、大変盛り上がりしました。

企画された関係者に敬意を表すると共に、恒例行事となることを期待します。

森林セラピー事業

4月20日のグランドオーブン以降、5月末までに112人の方が森林セラピーを体験されました。体験者は、地域的には広島市内の方が多く、きっかけとしては友人知人の紹介が多いとの結果が出ています。動向を勘案しながら、本年度の目標に向けて取り組みを推進します。

各種イベント

「ぼたんまつり」「いたみ緑

化フェア」「大万木山ブナ林観察会」「ポピーまつり」など、様々なイベントを通じて交流活動を行いました。

今後もうこうしたイベントで、飯南町の自然と人情にふれる機会を設け、地域交流の輪を拡げ、地域活力の向上に努めます。

定住対策

交流活動を展開する中で「飯南町に住みたい、ここで働きたい」という方を掘り起こし、定住に結びつけたいと考えていますが、それには働く場の確保が重要です。地域資源を活用した内発型の産業として、環境対策と山林活用による就労の場を検討しています。「ふるさと応援寄附金」等も活用しながら、方向性を検討します。

「地域力の向上とコミュニティ対策の推進」の取組状況

集落診断書(カルテ)調査は、6月下旬の自治区長連絡会で診断書の内容をお示しし、集落調査表の作成作業に入っています。

いただきたいと考えています。

過疎化や高齢化が進む中で、5年先10年先を見据えた地域づくりの基礎資料として調査表集計・分析を行い、プランづくりを行っていただきたいと考えています。

農林業の振興対策

水田経営所得安定対策

(品目横断的経営安定対策)

新たな法人の設立や特定農業団体の設立もあり、昨年度加入実績の189戸から240戸程度に増加する見込みです。加入予定者は、認定農家8人、法人6団体、任意団体2団体、特定農業団体1団体です。

「農地・水・環境保全向上対策事業」

町内22地区で本年度の取り組みが行われています。事務が非常に煩雑という指摘もあり、本年度から提出書類等が簡素化されます。環境保全に向けた営農活動では、11地区において約170戸の取り組み要望が出ています。



一般会計補正予算

今回の補正予算で、7600万円を増額しました。これにより、町の予算規模は59億905万円となっています。

【主な内容】

- ▽琴引スキー場など指定管理者に対する貸付金
-1500万円
- ▽除雪機械整備
-2200万円
- ▽農道災害復旧工事
-1500万円
- ▽議会議員の報酬額等の引下げ
-▲400万円

特別会計補正予算

【主な内容】

- ▽病院事業会計の嘱託医師報酬
-1000万円

施設園芸の振興

施設園芸研究会から、施設園芸振興の方針について3つの提言をいただきました。○生産量が低下しているメロ

ンの生産強化

○施設園芸を基幹とする農業経営の方策としての水耕栽培と、少量培地(樽栽培)による栽培形態の提案

○遊休ハウスを活用し、気象条件等に適したブドウ、トマト等の栽培の拡大
これらの提案を基に、施設園芸の振興を図ります。

町内での実績がない樽栽培の試験を行い、遊休ハウスは状況を把握して活用策を検討します。

畜産振興

昨年度の全国和牛能力共進会の反省から、島根県の方針に基づき、県外牛の導入についてJAから町内に募集し、10人の方から12頭の要望がありました。

町が進める受精卵移植のドナー牛として活用し、より早く優良牛を増やしていく手法として期待しています。

後期高齢者医療制度

「後期高齢者医療制度」の被保険者は、6月2日現在で被保険者1393人(うち障害認定の方16人)です。
飯南町の保険料の水準は、厚生労働省から示された12のパターンを基に、前年の国民健康保険料と比較すると、全

てのパターンで後期高齢者医療の保険料が下がっています。

それ以外の場合でも、大部分は保険料が下がる傾向ですが、年金等の額や家族構成によっては、上がる場合もあると考えています。

現在、保険料減免の拡充など、制度改正も検討されています。

病院事業

2月から3月にかけて入院患者が激減したため、19年度の病床利用率は60%を割り込みました。病院の収支は、3月末時点で約1000万の資金不足が発生し、非常に厳しい状況です。

全国的にも自治体病院の経営状況が悪化しているため、改善を図ることを目的として「公立病院改革ガイドライン」が示されました。

これによると、3年連続病床利用率が70%を下回ると、病床数の削減や診療所化を含めた経営改善計画が義務付けられ、原則3年以内に、経常損益の均衡化を図ることが求められます。

飯南病院は、18年度から2年連続で病床利用率が70%を下回っています。利用率の向上を図ると共に、様々な視点から、改革プランの策定を進

めます。

町民の皆さんに広く利用いただける病院づくりの指針とするため、3月に実施したアンケート調査、病院事業審議会からの提言をもとに、本年8月に「地区医療懇談会(仮称)」を開催する準備を進めています。

保育所の民営化

保護者の方など、関係者と十分に意思疎通を図りながら検討を進めます。

より多くの方に参加いただけるよう、保育公開日などを利用して、保護者との意見交換を進めます。

町営バス

4月から、通院通学に特化した運行とするため、飯南高校へのバス通学が可能な時刻を設定して運行しています。

この結果、バス通学生が増加し、5月に定期券の発行を試行したところ、通学生の約半数にあたる20人の利用がありました。

(11ページに定期券関連記事)

学校教育の充実

学校教育法の改正により、教育活動や学校運営の状況等の評価を行い、その結果に基



づき学校運営の改善を図るため、学校評価制度が創設されました。その実践研究事業に飯南町が指定を受けました。事業の内容は、各学校が行う自己評価と保護者などの関係者評価を実施し、その評価結果を今後の学校運営や教育活動の改善につなげていくものです。

未収金対策

20年3月末の滞納繰越分の徴収状況は、差し押さえ59件(160万円)を含めると、町税650万円(徴収率50.7%)、国保料550万円(24.8%)でした。徴収率はそれぞれ6.3%、13.2%向上しています。現年度分の徴収率は、本年5月末現在で、町税99.1%、国保料96.2%の見込みで、それぞれ0.3%、0.8%向上しました。

保育料、住宅使用料、上下水道使用料等も、徴収率は概ね前年度に比較し、向上する見込みです。

半夏まつり

7/5(土)

7/6(日)

赤名の夜空に
1000発の花火



半夏まつりは、江戸時代から続く半夏市(半市)の賑やかさを後世に残そうと、赤名の夏まつり実行委員会が中心となって開催されています。

今年も赤名連担地には、町内外から多くの方が訪れ、メインステージの催しや大花火大会を楽しんでいました。

普段は閑静な連担地も、この日は露店の光やカラフルな浴衣姿に彩られ、華やかな雰囲気になっていました。



赤名小学校児童の銭太鼓



「これがお仕事」 タカダ・コーポレーション



見事なハーモニー 六子(LOCO)



ハイ! 金魚オマケ!



今日も祭でイソガシジャー

命の尊さを感じてほしい

志々小で「人権の花」運動

6/18(水)



「人権の花」運動は、主に小学生を対象とした啓発運動で、花植えを通じて、命の大切さや相手への思いやりの心を持つてもらおうと、全国各地で実施されています。

志々小学校では、人権擁護委員の木村康男さん(頼原…敷波と後長洋子さん(角井)が、児童と一緒にベゴニアや日々草などの苗を植えていきました。

木村さんは「この花の苗は、皆さんと同じようにたった一つの命を持っている。その命を大切に、協力して美しい花を咲かせてください」と話し、児童もその言葉をしっかりと受け止めていました。

中山間地の高校教育を考える講演会開催

6/21(土)



人材の育成と高校の存続へ向けて

生徒数の減少で存続が危ぶまれる飯南高校では、ふるさとを大切にして自ら将来を切り開き、地域に貢献できる生徒を育てようと、毎年生徒やPTAなどを集めて講演会を開催されています。

今年も、同校関西支援会会長の松原護さん(下米島出身)から講演がありました。松原さんは、自身の体験談をもとに、「人生設計の大切さ」「忍耐力」「ふるさとへの感謝」など、今後の人生に対するアドバイスを生徒に送りました。

生徒は、松原さんの助言に真剣な表情で耳を傾けており、将来に向けて貴重な講演会となっていました。

奥飯石に伝わる伝統文化

奥飯石神楽共演大会

6/29(日)



飯南町に古くから伝わる奥飯石神楽は、県の無形民俗文化財にも指定されています。

その歴史は古く、約400年とも言われており、各神社に携わる人々によって、大切に受け継がれてきました。

ふれあいホール「みせん」で開催された「奥飯石神楽共演大会」には、町内外から約30

0人が集まり、こども神楽や歴史ある社中など5団体が、6時間にも及ぶ神楽の舞いを披露しました。

会場には、奥出雲神楽独特の太鼓や笛の音色が響きわたる、古来のままに伝わる貴重な舞いが、観客を魅了していました。

生命地域の新鮮な食材を活用しよう

薬膳料理講習会開催

6/30(月)



飯南町は、神戸川、斐伊川、江の川の清流の源である「生命地域」です。この水で育った食材を使い、健康な身体づくりに活用しようと、「薬

赤名保育所でしば餅作り

7/8(水)



らっていました。

赤名保育所では、地域の高齢者との交流活動として、毎年「しば餅作り」を行っています。この交流活動は今年が5回目、今回は赤名と谷から10人の高齢者が参加しました。

子どもたちは、作り方を教えてもらいながら、大小様々なかわいい「しば餅」を完成させると、お札に銭太鼓を披露しました。

高齢者は、この交流活動を毎年楽しみにしており、子どもたちの笑顔から、元氣をも

飯南町各公社の決算状況

飯南町開発公社

「飯南町開発公社」は、昭和44年12月に設立され、町有施設の管理運営をはじめ、地域の発展と住民福祉の増進にその役割を果たしてきました。
これまで管理運営をしてきた施設について、平成20年度以降新たな団体による管理運営が決定したことから、5月28日に開催された開発公社理事会において解散しました。

開発農地

収入額 2,270万円(内:事業収入2,267万円)

支出額 2,549万円

【りんご園】

入場者数は平成18年度に対し約600人増加し、収穫量も約13トン増加しました。

【ブルーベリー園】

入場者は約30人減少し、収穫量も約150キロ減収しました。要因は、島根大学との共同研究による接木、補植の影響とされますが、新品種や気象条件等に適合した品種の導入を行いましたので、今後は入場者や収穫量の増加が期待できます。



ぼたん園

収入額 645万円(内:事業収入194万円)

支出額 653万円

売上げの大部分を占めるぼたんまつり開催時の天候や開花状況から、事業収入は、平成18年度に対して約50万円減少のとなりました。



県民の森管理

収入額 1,299万円

支出額 1,220万円

来場者数は、森林セラピー基地に認定されたことや、シーズン比較的天候に恵まれたことから増加しました。



飯南町農業公社

収入額 123万円

支出額 118万円

31人の方から20ヘクタールの農地を借り受け、15人の農業者の方に貸付を行うことで、農地の集約化と荒廃防止に努めました。

飯南町土地開発公社

収入額 477万円

支出額 25万円

志津見ダム関連の借地料の収入と、それに関連する費用です。



泉川団地



(株)飯南トータルサポートを指定管理者に指定

琴引スキー場は、冬期間に3万人の誘客が見込まれ、雇用や地域経済に対する貢献、地域スポーツの振興、特色ある学校づくり、交流事業の拠点としての活用など、地域振興上重要な施設です。
同スキー場および山荘等の周辺施設、都市交流センターやまなみ、道の駅「頼原」情報交流館を一体的に管理運営する団体を、指定管理者として募集し、「(株)飯南トータルサポート」を指定しました。
この会社は、町内在住の方が協力し、スキー場等の運営に向けて新たに設立した会社です。
同社には、人材や施設の有機的な活用、グリーンシーズンの利用など、新たな発想と行動による経営の安定化を図ることで、地域振興上の役割を果たす施設運営を期待します。



琴引スキー場



「やまなみ」と「情報交流館」



琴引ビレッジ山荘

住民提案型事業

1次募集の採択事業を決定



審査会(来島基幹集落センター)

7月4日に「住民提案型事業」の1次募集選考会を行い、次の団体を採択しました。

★実践活動部門

▽飯南町「赤来高原ぶどう」の会 (代表:小笠原 稔)

…特産品としての取り組み

▽やすらぎの会 (代表:日高 敬二)

…自主防災活動の推進

★企画・研究部門

▽飯南町森の案内人会 (代表:小林 勝文)

…「飯南の自然」ガイドブックの作成・調査

■2次募集を開始しました

「住民提案型事業」の2次募集を行っています。皆さんからアイデアあふれる提案をお待ちしています。(締め切りは8月29日)

※募集に関する詳細は、7月自治区文書の回覧文書をご覧ください。

■お問い合せ

政策推進課まちづくり推進室
TEL 76・221・4

半夏子牛共進会を開催

7月4日、畜産センターを会場に「半夏子牛共進会」を開催しました。会場には約60人の関係者が参加し、20頭の出品がありました。

■上位入賞者

- 首席 澤田秀樹さん(上島島の愛牛)
- 次席 那須道弘さん(長谷の愛牛)
- 3席 那須久司さん(花栗の愛牛)



首席の「てるいとふじ号」と澤田秀樹さん

- 4席 妹尾知信さん(長谷の愛牛)
- 5席 那須貴宏さん(長谷の愛牛)

飯南町消防団が夏期訓練を実施



飯南町消防団は、町内で発生する火災の消火活動や災害への対応、防犯パトロール活動など、住民の安心・安全を目指して様々な取り組みを行っています。

7月13日には、町内の各分団が一堂に集結し、毎年恒例の夏期訓練を実施しました。会場となった頼原町民グラウンドには、団員260人が集まり、通常点検や部隊訓練などを行いました。

また、今後の取り組みとして、第9分団が「雲南地区消防団操法大会」(7月20日:雲南市木次町)、「県消防操法大会」(8月3日:出雲市)に出場します。

飯南町消防団は338人(4月1日現在)で構成しており、今後も積極的な活動に取り組んでいきます。

団員は随時募集していますので、皆さんの積極的な参加をお願いします。

子どもたちに夢や希望を！

子供と生の芝居を観る会



劇団員と芝居を観る会の皆さん



あふれる子どもたちの笑顔



来島小学校での読み聞かせ



糸あやつり人形劇団「みのむし」の人形劇

6月26日(木)・28日(土)の両日、来島基幹集落センターと飯南町保健福祉センターを会場に、三次親子劇場の地域公演として、マリオネット人形劇が上演され、各会場では子どもたちの元気な笑い声が聞こえていました。

地域公演は毎年開催されており、町内の子どもたちに大人気です。今月は、この公演を陰で支える女性グループ「子供と生の芝居を観る会」を紹介します。

「子供と生の芝居を観る会」は、平成2年に旧赤来町で立ち上がり、「子どもたちに生の芝居を見てもらいたい、たくさんの感動を体験してほしい」という思いから始まりました。

合併後は頓原地域の方もメンバーに加わり、現在は15人で活動されています。主な活動は、三次親子劇場地域公演の開催で、劇団の誘致から子どもたちへの呼びかけなど、開催の約4カ月前から活発に活動されています。

また、メンバーの一部が中心になって活動する「本ドキッ」は、来島小学校で毎月2回、絵本の「読み聞かせ」や紙芝居を行っており、児童も毎回この日が来るのを楽しみにしています。

の開催で、劇団の誘致から子どもたちへの呼びかけなど、開催の約4カ月前から活発に活動されています。

また、メンバーの一部が中心になって活動する「本ドキッ」は、来島小学校で毎月2回、絵本の「読み聞かせ」や紙芝居を行っており、児童も毎回この日が来るのを楽しみにしています。

いのち 彩る 生活

医療機関への上手なかかり方

病気になったり気になる症状が出た場合、「どのタイミングで病院に行けばいいの?」「今かかっている病院で十分な医療が受けられるの?」など、不安になることはありませんか。

今月は「医療機関への正しいかかり方」をテーマに説明します。

■こんなときは早めの受診を
「高熱や体調がすぐれない日が続いている」「食事が取れない」「めまいや脱力感、うまく話せない」など、いつもと違う状態が続くときは、検査体制が充実している時間帯に受診しましょう。

飯南病院、来島診療所の外来受付時間は次のとおりです。

▽飯南病院
8時30分～11時30分

▽来島診療所
月・水・木 8時30分～11時
火・金 13時30分～15時30分

■受診のポイント
①聞きたいことを前もって、簡単にメモしておくとういでしょう。

②「今後どんな検査や治療が必要か」「治る病気か」「薬はいつと飲まなければいけないのか」など、納得いくまで聞きましよう。見通しが立てば自分が何をすべきかが分かります。

③治療方法の選択、治療の効果や危険性、治療した場合の予後、

治療しない場合の見通しなどを相談しましょう。

④現在受けている治療内容が分かるもの(内服薬の一覧表など)を持参しましょう。

■他の医療機関への相談もできます
現在の治療に疑問があるときや、もっと良い治療法があるのではと決断がつかない場合、もう一つの意見を参考にすることもできます。

▽セカンド・オピニオン
セカンド・オピニオンとは、第二の意見と言って、主治医とは別の医師から与えられた診断や、治療方針についての意見のことです。

セカンド・オピニオンを求める場合、最初に受診した医師に紹介状を書いてもらい、検査データを借りて別の医師を受診するのが理想です。

適切な医療を受ける上での権利です。遠慮なく申し出てください。

お問い合わせ 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

県民の森フェスティバル2008

こんにちは中山間地域研究センターです

島根県中山間地域研究センターの10周年記念事業として7月末に開催します。

■日時 7月27日(日)
午前9時30分～午後3時

■場所 島根県民の森(小田)

カフトムシのイベント

今年も県民の森で生まれました。カフトムシを大切に育ててくれる方、先着300人にプレゼントします。(虫かごを準備してください。)

各種のイベント開催

今年には野外体験型のイベントを各種準備しました。誰でも参加できる「まめなウォーク」、ちよつときつい「エコ・ウォーク」

木工教室



ストサイクリング、世界に羽ばたく高校生「バイクトライアル演技」、ちよつと新たな試み「白バイ撮影会」、ゆらゆらハンモック体験、ツリークライミングなど。

ヤマメのつかみ取り

午後には「ヤマメのつかみ取り大会」も実施します。何匹とれるかな?

体験コーナー

食べ歩きコーナー
体験コーナーも盛りだくさんです。地元出店者による「食べ歩きコーナー」では、軽食ドリンクなど販売します。

★詳しくは

『県民の森フェスティバル』の詳細については、お電話いただくか中山間地域研究センターホームページをご覧ください。



丸太きり大会

ひっくりがえせ!! 森のおもちゃ箱

俳句短歌

琴峯華俳句会

- * 柵越しに牛との対話風流る
- * 松落葉犬は地虫を遂に出し
- * 葉屋根の崩れて俺びし時鳥
- * 婦人部の茶の接待や牡丹祭
- * 夏蔵手にしたものの捨てにけり
- * 芍薬の彩り仄と今朝の供華
- * 亡き人を想ひ起こさず鉄線花
- * 裏山で我呼ぶ如く時鳥
- * 松の芽を摘むには高し五葉松
- * 参道は伸び放題に夏蔵
- * 草を刈る畔の蛙よ早逃げよ
- * 兵たりし訓練跡の夏蔵

赤名短歌会

- * 這いのぼるを忘れたりしやかたつむりブロック塀に動かざる朝
- * 木々の芽に力もらいて山路行く堂の青さが見えかくれする
- * 昭和初期田舎の山の小生明治の父とラジオ聞きたり
- * 神西湖は吾の故郷よ弾む胸に遊覧船観覧し
- * 奥津城に伯父を想いて佇めばたださやと竹落葉する
- * 桃の花妖と咲きたり山道に遊名御前の齋の棲む映
- * 息と孫を送り出せし朝の部屋新聞広げてゆつくりと詠む
- * ほととぎすの鳴く声鋭しふみづきと妻は手早く枝豆を植うる
- * 其処かしこの陰草に追われるわが暮らし花花が慰め呉れる
- * 老人と子どもの社会健やかにとバトン引きつぐ生きるべし一役
- * ぼたん園のほとりに咲きし八重桜の道はピンクの絨毯
- * ほととぎす鳴きつる山に夏蔵を唄ひつづ葡萄に袋を掛くる
- * ホーホケキョと口笛吹けば鶯はわれに習えと朝のしじまに

六月詠草

- 岩佐 恒子
- 日富美代子
- 佐々木りく子
- 安部 教子
- 澤田 久美子
- 源 光子
- 本間 麗子
- 澤田 勝登
- 難波 幾子
- 門所 詠子
- 貝森フミエ
- 石田フクエ
- 中村三四二

会員作品抄

- 石田シヅカ
- 奥野 王貴
- 垣内 良野
- 片山 素文
- 林 勝子
- 原 コウ
- 張戸ユキ女
- 政本 進美
- 源 雨光
- 森 征子
- 山崎智恵美
- 垣内 峯雅

町民プール・図書館をご利用ください

町民プール一般開放

夏休みの期間中、次のとおり町民プールの一般開放を行いますので、ご利用ください。

★ 頓原町民プール

▽利用期間・時間 7月19日(土)～8月31日(日) 13時～16時

★ 志々町民プール

▽利用期間・時間 7月20日(日)～8月31日(日) 13時～16時

利用時の注意事項

- ・期間中の休みはありませんが、雨天時や水温が低い時などは中止します。
- ・監視員を頓原町民プールに3人、志々町民プールに2人常時配置しています。
- ・小学生以下の子どもさんには、保護者の方の付き添いをお願いします。

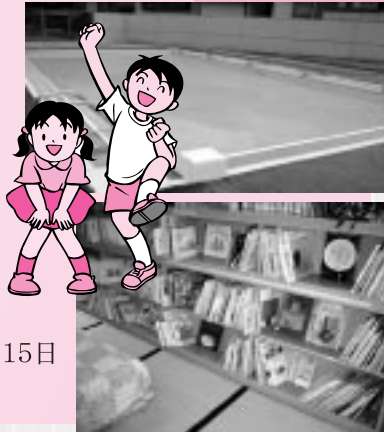
飯南町立図書館

毎日開館していますので、プールにあわせてご利用ください。

▽開館時間 8時～18時 ▽休館日 12月29日～1月3日

▽蔵書数 13,522冊(うち児童図書5,689冊) ▽貸出冊数 1人5冊以内 ▽貸出期間 15日

■プール・図書館に関するお問い合わせ 飯南町教育委員会 TEL 7 2・0 3 0 1



お知らせ INFORMATION



社会保険職員を装った不審電話にご注意を！

社会保険職員を装った不審電話、訪問が多発しています。社会保険職員や国民年金推進員が訪問を行う際は、必ず身分証明書を携行し、保険料等を受け取った場合は、その場で領収証を発行します。

また、社会保険事務所等が保険給付金や還付金について、職員が電話を行い、フリーダイヤルの案内や金融機関・コンビニエンスストア等に出向いていただき、ＡＴＭを操作して入金・出金の指示を行うことはありません。社会保険職員を名乗った訪問・電話について不審な点がありましたら、相手方の所属・氏名をご確認いただき、お近くの社会保険事務所までご連絡いただきますようお願いいたします。

■お問い合わせ

島根社会保険事務局出雲事務所
TEL 0 8 5 3・2 4・0 0 4 0

後期高齢者医療制度 保険料の軽減割合が拡大されます

次の方は、減額後の保険料のお知らせを、8月以降に送付しますので、ご確認ください。

★20年度の均等割額が7割軽減されている世帯の方
…一律8・5割軽減されます。

されます。あらためて手続きをしていただく必要はありません。

■お問い合わせ

住民課税務保険担当
7 6・2 2 1 3



「生活路線バス定期券」販売開始

町営バスを利用しやすくするために、「飯南町生活路線バス定期券」の販売を開始しました。

■販売場所 役場各庁舎・支所窓口

■定期券の有効期間 9月30日まで

※10月以降の定期券は、販売開始の際にＣＡＴＶ等でお知らせします。

料 金	町内運行定期券	町外運行定期券
7月分からの申込み	大 人 12,000円 高校生 6,000円	大 人 24,000円 高校生 12,000円
8月分からの申込み	大 人 8,000円 高校生 4,000円	大 人 16,000円 高校生 8,000円
9月分の申込み	大 人 4,000円 高校生 2,000円	大 人 8,000円 高校生 4,000円

※巡回バスにはご利用できません。

■お問い合わせ 住民課町民生活担当 TEL 7 6・2 2 1 3

「全国海難防止強調運動」実施

浜田海上保安部では、7月16日から8月15日までの1ヵ月間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、官民の関係者が一体となった「全国海難防止強調運動」を実施しています。

- ★釣り人やプレジャーボートに乗船される方へ
 - ・救命胴衣の常時着用
 - ・連絡手段の確保(防水バック入り携帯電話の携行)
 - ・海の緊急電話番号「118番」の活用

★海水浴客の皆さんへ

- ・飲酒しての遊泳は危険ですので、絶対にしないでください。
- ・お子さんにとって海は危険がいっぱいです。目を離さないでください。



「消費者被害防止」啓発用品をご活用ください

飯南町消費者問題研究協議会会長：寺西正和氏は、消費者被害防止の啓発の一環として「絵本」「ビデオ」「パネル」を制作しました。

●絵本「カネゴンにつかまつた子どもたち」
幼児から大人まで楽しく学べる絵本

●ビデオ「ネットワークのまちづくりー賢い消費者をめざしてー」(29分)
消費研委員と職員出演による、オレオレ詐欺と訪問販売を題材にした防犯ビデオ

●パネル(6種類)
とんぼ川柳会の協力による「オレオレ詐欺」「ヤミ金融」「クレジットローン」

重債務「架空請求」などへの注意を促したパネル。今回作成した啓発用品は、地域でのサロンや研修、講座などへ貸し出します。

■お申し込み
役場各庁舎・支所窓口



「ねんきん特別便」臨時相談会

島根社会保険事務局では、県民の皆さんの利便を図るため、島根県社会保険労務士会の協力により、臨時相談会を実施します。

■日時 8月12日(火) 10時～15時

■会場 来島基幹集落センター

※相談には年金特別便等をお持ちください。
※受付は会場で行います。先着順です。
※混雑状況によって、午前中で受付を終了する場合もあります。
※代理人の場合は委任状が必要です。

「島根県養育費相談窓口」開設

島根県では、ひとり親家庭の方や離婚前の方のお子さんに関する養育費取得のための相談窓口を、7月1日に開設しました。

ひとり親で養育費をあきらめかけている方も、離婚を考へておられる方も、一度相談をしてみませんか。

■相談窓口
島根県母子家庭等就業・自立支援センター
TEL 0 8 5 2・3 2・5 9 2 0
松江市東津田町1741の3
いきいきプラザ2F

■相談時間
平日 9時～17時

■内容

- ・養育費に関する電話・面接相談、法律相談、養育費取得のための各種支援制度などの情報提供など
- その他
・相談は無料。秘密厳守。
・面接時間・法律相談は事前予約が必要。



あこやかに 6月届出分

新生児 届出人 地区
塩田康太 昭弘(野営)
田中莉々子 淳(寺沢)

やすらかに 6月届出分

お名前 親族 地区
森山 昌雄様(83) 樹(花栗)
本間 忠臣様(82) 西橋博(花栗)
松田 シゲエ様(84) 昇(下米島)
那須 嘉夫様(79) 永英(八神川西)
石田 ヤス子様(87) 登喜(赤名)
竹澤 茂様(84) 武志(上赤名)



今月の表紙
頓原中学校と赤来中学校では、授業の一環として「職場体験学習」を毎年実施しています。
7月10日・11日に行われた頓原中学校の職場体験学習3年生では、生徒が16カ所の事業所で様々な仕事を体験しました。
琴引の里で介護の仕事を経験した深谷なみきさん(右後)と柳生絵美さん(左後)は、「喜んでもらえて嬉しかった」「大変な仕事だと感じた」と話し、それぞれが貴重な経験を積んでいました。

まちのスケジュール

2008 平成20年 8月

日	月	火	水	木	金	土
7/27 ❖ 県民の森ふれあいフェスティバル2008 (県民の森:小田) ❖ やまめのつかみ取り大会 (谷公:塩谷川)	7/28 ❖ 小学5年生伊丹体験ツアー～29日 (兵庫県伊丹市) ❖ スマイルりんご (来島保健センター)	7/29 ❖ 頼原公民館「とんぼ探検隊キャンプ」～30日 (県民の森:小田) ❖ 銀山街道応援団除草活動 (赤名峠)	7/30 ❖ グラウンドゴルフ教室 (志公:志々山村広場)	7/31	1 ❖ とんぼ探検隊キャンプ (頼公:県民の森) ❖ 甲子園ツアー～2日 (大阪市内、甲子園球場他)	2 ❖ 昆虫教室 (県民の森:小田) ❖ 親子キャンプ教室 (県民の森:小田)
3 ❖ 志々小親子奉仕作業 ❖ 頼原小親子奉仕作業 ❖ 頼原中親子奉仕作業 ❖ 県消防操法大会 (出雲市:出雲ドーム)	4 ❖ 健診 (赤名改善センター 対象:上赤名・下赤名) ❖ スマイルりんご (来島保健センター)	5 ❖ 健診 (赤名改善センター 対象:赤名・下赤名) ❖ 赤名・来島・谷公民館グラウンドゴルフ大会 (赤名山村広場)	6 ❖ 軽体操 (保健福祉センター) ❖ 健診 (赤名改善センター 対象:下赤名) ❖ わらべの学校 (志公:さつき会館) ❖ 環境学習講座 (志公:さつき会館)	7	8 ❖ 行政相談 (来島基幹集落センター) ❖ 町教研生活科部会研修会・ふるさと教育指導者研修会 (県民の森:小田)	9 ❖ ゲートボール大会 (志々体協:志都の里)
10	11	12	13	14	15 ❖ 成人式 (みせん) ❖ 盆踊り大会 (谷公:旧谷小グラウンド)	16
17 ❖ 頼原中ビール瓶回収 ❖ ふれあいウォーキング (志公:角井地区周辺)	18 ❖ スマイルりんご (来島保健センター) ❖ 飯南町こども関係者研修会 (みせん)	19 ❖ 赤来中三瓶研修 (対象:1年) ❖ 赤来中職場研修 (対象:2年)	20 ❖ 軽体操 (来島基幹集落センター) ❖ 自治区長連絡会議 (来島基幹集落センター) ❖ わらべの学校 (志公:さつき会館)	21 ❖ 人権講演会 (志公:さつき会館)	22 ❖ とんぼ探検隊 (頼公:生涯学習センター)	23 ❖ 来島小PTA清掃活動 ❖ 県少年軟式野球大会～24日 (頼原町民野球場、赤名山村広場)
24 ❖ 赤名小PTA奉仕作業 ❖ 町民体育大会 (頼原:頼原町民グラウンド) ❖ ソフトボール大会 (志々体協:志々山村広場)	25	26 ❖ お料理しま専科 (来島保健センター)	27 ❖ わらべの学校 (志公:さつき会館)	28 ❖ 乳児・1歳6ヵ月児健診 (保健福祉センター)	29	30 ❖ 来島小PTA清掃活動 ❖ 国際交流「中華料理と八宝茶を楽しもう」 (志公:さつき会館)
31 ❖ 町民体育大会 (来島:来島小グラウンド) (赤名地:赤名小グラウンド) (谷:旧谷小グラウンド)	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6

❑ 教育 ❖ 健康・保健 ❖ 文化・体育 ❖ その他

決められた日時を
お守りください

し尿汲取り日		頼原地域 ▲ 72-1401 赤来地域 ▲ 76-2441
汲取り地区	汲 取 り 日	
頼 原	7日 9日 27日 29日	
志 々	12日 14日	
赤 名	2日 4日 22日 24日	
来 島	17日 19日	

資 源 物	
収集地域	収集日
頼原	20日 (水)
赤来	27日 (水)

	金属類・粗大物	ガラス類
収 集 地 区	収 集 日	収 集 日
頼 原 連 坦 地	25日(月)	11日(月)
八 神 連 坦 地	27日(水)	13日(水)
志々・頼原の連坦地以外	26日(火)	12日(火)
赤 名 連 坦 地	18日(月)	4日(月)
来 島 連 坦 地	20日(水)	6日(水)
赤名・来島の連坦地以外	19日(火)	5日(火)

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。